



平成 22年 5月 19日
掬水まちづくり協議会
47号

女性部の紹介

掬水まちづくり協議会

女性部部长

豊原町 上田 真登

四月より本格始動しました女性部です。四月の総会でもお話をさせていただきましたように、今年度の主な活動は、あいさつ運動の推進です。これまでも、あいさつ運動につきまして、ご家庭・学校・地区の方々等、それぞれご尽力をいただいております。

カー・野球・バレーボールといったクラブチームや子どもハウス(学童)等の関係者のご理解・ご協力をいただきまして

- お おきな声で
- い つでも
- ど こでも
- か おを見て



「おいどーか? あいさつはしっかりできていますか?」と覚えていただき、実践・協力を呼びかけております。そして「もうできていますよ」「今日からできるよ」という子どもさんには、

写真にありますような

「ニコちゃん缶バッチ」をお配りし、いつでも服に付けていただき、子どもさん同士で広がっていくことを期待しています。

この運動は、多くの方々にはまず知っていただき、そして実践していただくことが大切ですので、老人会やPTAの方々の方々の会合等でも呼びかけをさせて

いただきご協力をお願いしているところと。

あいさつは、単なるマナーとか礼儀だけの問題ではなく、あいさつすることで会話も生まれ、コミュニケーションがとれることで、日ごろの防犯はもちろん、万が一の災害時にも力を発揮するといわれております。

あいさつを通して、『地域力』を高めることで、より明るくより安心して暮らせる『まち』になるようみなさまのご理解・ご協力をお願い致します。

挨拶

シリーズ自治会だより

山添町 井坂 長生



児童の集団登校で通学する子供達に「おはよう気を付けてな」と声をかけると、大半は、「おはようございます」と返事をくれるが、中には「挨拶」が出来なく黙って行く子も有り淋しく思っています。

今、掬水まちづくり協議会でも、「挨拶」についての「おいどーか」運動が展開されているが、昨今は、家庭内での「会話、挨拶、礼儀」など道徳的な話合い

や、コミュニケーションの不足が指摘されたりもしている今日であり、実際にも世間では家族間での時間を大切にしたり、世間話等の共通会話を持つ事が減ってきており、その背景には、

生活が豊かになり自分の部屋を持つようになったので、食事などが済んだら自分の部屋に閉じこもり、家族同士のコミュニケーションを取り持つ事が難しくなり「挨拶」や礼儀などが身に付かなくなるように思われます。また、こちらから「挨拶」をして明るい返事が返ってくると気持ちが良いが、返事をされたのか、されて無いか分からな人も少なくない。「挨拶」が面倒臭い感覚でとらえている方も見える。その様な家庭で育った子供達に「挨拶」をするように指導してもなかなか出来ないと思う。

挨拶は家庭からと言われるが私もその通りだと思いますが、まず親が手本を見せる事が一番の「躰け」だと思います。

社会生活は「挨拶」からだと思えます。「挨拶」があつて人間関係も成り立ち心の豊かな生活に結び付くのだと思えます。

私自身も、反省する点や心掛けるべき事が沢山あります。今回の原稿依頼を機に、我が家でも、反省に立ち「挨拶」を通じて明

るい生活を心がけていきたいと思えます。

上海万博に行つて

東部中学校一年 菅生町 太田 翼

ぼくの中国への旅行は多くのことを学んだ旅行でした。何よりも昔と比べて変わったことやおどろいたことが多くありました。

中国について一番初めにおどろいたことは町の様子がとても変わつていたことです。数年前より大きくたくさんさんのビルが立ち並び、三菱やキャノンなど日本の大企業の広告が増えています。さらに外食産業はほとんど日本の会社で日本は中国とながりをもちたがっていることが分かりました。さらに、中国の人々の会話の中にも日本という言葉がたくさん出てきていて、日本と中国の交流はますます深まつていくのかなと思つていました。自転車より自動車の方が増えたり、路上で品物を売っている場所が減つたりと日本との共通点が多くなつてきましたが、テレビなどではあまり知られていない市場では上海のような大都会でも生きているカモや新鮮な魚

5・9 FIGHT DAY

芋の苗植え 5月29日(土) 13時より 集合場所 清水町農協倉庫前
文化祭芸能発表会 6月6日(日) 9時より 場所 松阪農協本店3階
第1回評議員会 6月10日(木) 19時より 場所 榑田市民センター
自主防犯パトロール隊4周年記念式 6月14日(月) 8時50分より 場所 第三銀行榑田支店駐車場
親子ソフトバレーボール大会 6月20日(日) 8時30分より 場所 掬水小学校体育館



上海万博 中国館前にて

や野菜が売られていました。町の人々は町が近代化していくなかで、思いやりにあふれていて自分も見習わなければと思いましたが。そして、もうひとつ学んだことがあります。それは万博でのことです。万博ではたくさんの方のバビリオンがありました。その中で特に印象に残ったのは中国館とイギリス館とフランス館です。中国館では今までの歴史と未来への期待をこめた映画を見て、イギリス館では未来の子供も達に三千種以上の植物の種を保存しています。さらにフランス館では緑を強調して地球に緑を残そうとしていました。どこの国でも未来に期待する心は一つなんだと思ひ、たくさんの方の心を一つにすることは難しくないのでと感動しました。

二回目行つたときは雨で、人が少なかつたです。なので、まち時間も少なかつたです。二回目はドイツ館などに行きました。大きなボールのようなものが、色をかえたりしていました。どうやって色をつけたのかわかりませんでした。スイス館は、そうがんきょうのような物で写真のような物を見ました。

万博に行つて
掬水小学校三年
菅生町 太田 仁奈

このようにこの旅行は多くのことを学んだ旅行でした。ぼくはこれから世界とつながりを深めて他の国の良いところをとり入れていきたいです。

一日目には、太陽がキラキラして、すごくあつかつたです。中国は万博のことを世博と書かれています。広さはあい知万博の二ばいだそうす。

スペイン館は、スクリーンにピカソの大作ゲルニカが写し出されてました。スペイン館のたてもののイメージはどうくつのイメージでした。しかしわたしには、すだれのかたまりにかみえませんでした。

四国八十八ヶ所霊場
歩き遍路物語(四)
豊原町 岩塚 章

老人が四国一周一三〇〇キロ歩き通せるのだろうか。出発する前まで皆様から「止めとけ。車で行くのだったら」何人かの方に言われたことだろう。徳島

見れました。スイス館では、晴れの日にはリフトのような物で、上に行くことができるそうです。雨だったので残念でした。わたしは万博のじゅんぴをすのにどれだけの人と月日がかかったんだらうと思ひました。イギリス館はたんぼぼのようなイメージだといつていました。館の中は真つ暗で外にでると、そう音をすいとるキノコや、どくにくふれると色が変わる実や、いろいろなくうさうの物体がありました。そのまますすむと、ぎん色の人工しぼのようなものの上で休んでいる人がいたのでわたしたちも休みました。夜には、中国館の本館に行きました。すごくゆつくりなジェットコースターにのつて、はしをわたつたりしました。また夏休みにいきたいです。

駅に立つてもそのお言葉が耳にはなれない。いや、それらの忠告には感謝していた。しかし、何んとしても行く。この気持が消えなかつた。いろんなことをこの徳島に来てからも思ひ出される。ここまで来て何を迷っているんだ。別の僕が言っている。これから五十日、ふるさとをはなれささやかな修行ではあるがこの長い月日松阪後にして来れた。これだけで幸な老人である。もう悩まない。一歩踏出した。いやそれがそれがである。カメラ、カメラ。この歩き遍路全てを写真に、この気持が発からもろくも消えて行つた。宅急便で送つてもらおう。今夜は一番近くの民宿だ。とうてい間にあわない二泊目の六番安楽寺宛に電話を入れた。東京の写真仲間一部始終を恥をかきかき電話を入れた。「あなた何年写真をやつていらつしやるの。バカね。大阪あたりで使い捨てのカメラを何故買わなかつたのよ。じれつたいお方ね。」あ、そうだったのか。やはり年はとりたくないものだ。老いて子に教えられ、とうとう東京の美女にまでバカあつかい。これから五十日、紙面に書ききれないほどのバカエピソードを知らずにJR徳島駅から阿波大谷駅まで乗る。車中白装束、

金剛杖、笠傘、大きいリュック。サック遍路姿は私一人だけ。駅に降り立ち一歩。この積み重ね二百三十万歩歩くと、この地に帰つて来られる。気の遠くなる歩き遍路旅の一歩が始まつた。四キロ先に第一番霊山寺がある。



徳島県 霊山寺

「お遍路さん私一番の方へ行きます。乗つて行かれませんか」四国にはお接待というすばらしい四国独特の風習が残つていて聞いてはいたがこの様に早々とそのありがたいお心を頂くことが出来た。「ありがとうございませす。私三重から来ました。歩き遍路始めたばかりです。お心だけ頂きます」見送るその自動車に深々と頭を下げていた。涙がポロリと出た。歩いて一時間、松阪を五時に出発してこのお寺に着いたのが十五時であつた。